

第31号

駒本コミュニティ

令和5年3月23日

発行責任者/学校運営協議会会長・教育支援コーディネーター 水木優香 住所/文京区向丘 2-37-5 電話/3827-5451

◆ ご挨拶 ◆

学校運営協議会会長 水木優香

今年度も児童・保護者・教職員等のご意見を参考にしながら、学校関係者評価報告書をまとめることができました。私は学校教育で一番大切にしなければならないのは、子どもたちがこの先に生きていく社会を想像し、その予行練習のための教室を創ることだと感じています。そのためには、学校教育に関わる全ての大人が、未来への柔軟な想像力を高めなければなりません。

競争環境の教室で多くの時間を過ごした子どもは社会に出ても競争環境を求められ、教職員が考えた規則や指示に従うだけの教室で多くの時間を過ごした子どもは、マニュアルや指示がなければ動けず、規則から外れた者を排除する大人となっていくことでしょう。

子どもたちがこの先に生きていく社会を「多様な人と異なる意見や利害を乗り越えて共通項を見出し、共生していく社会」と想像するのであれば、そのような教室を創らなければなりません。教室に集う子どもたちみんなを成功者にして、教室全体に高い達成感を手に入れられるようにするにはどうしたら良いのか。教職員・保護者を含め、本校に関わる全ての大人に、その視点を大切にしたいと願っています。

未来の産み出し方は、教科書には載っていません。指導要領もありません。当然「産みの苦しみ」も伴います。しかし子どもたちの成長を目の当たりにしたときの達成感は、私たちに「やりがいと充実感」をもたらしてくれます。学校運営協議会や地域学校協働本部は、これからも教職員の「産みの苦しみ」に共感し、やりがいと充実感が得られる学校教育環境作りに貢献していきたいと考えています。

子どもたちが駒本小学校に在籍していたことに誇りを持てるように。教職員の皆様も駒本小学校で勤務していたことに誇りを持てるように。令和5年度も、力強く一歩前に歩いていきましょう。



◆ 令和4年度 第6回学校運営協議会 ◆

令和5年2月16日（木）16時～17時30分まで理科室において、第6回学校運営協議会が開催されました。

1 学校評価（教職員）について

- ・コロナ禍からwithコロナへの過渡期であり、校務改善や各教育活動の計画実施が、教職員全体の共通理解となっていな場面が見受けられた。次年度に生かせる評価・改善が必要。
- ・子どもの人権への配慮、特色ある教育活動、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備、保護者や地域への情報提供などは、昨年度から引き続き高い評価を得ている。